



学校通信

我が輩はトラフズク

令和7年12月23日 No.9

弘前市立第三中学校 (担当: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

「みんなが、みんなと、みんなに学ぶ」

校長 小笠原 恭史

「みんな」が煩わしくなったことがあります。きっと、先に「みんな」が私を煩わしかったと思います。子どもの頃はもちろん、大人になってからもありました。

考え方や大切なこと、その時に必要なことなど、自分が正しいと思っていました。その頃の私は $1+1=2$ のように、その時々における正解が一つあって、そうでない答えは間違っていると思っていました。“どうして、こんなに簡単なことが分からんんだろう”、“なぜ、賛成してくれんんだろう”と、独り正義気取りでした。

先生になってからも、“自分の思う一つの正解を矛”として、それを“受け入れないみんなの盾”を突き破ろうとしていました。みんな仲良くと言いながら、みんなを煩わしく思い、仲良くしていませんでした。

ある日の「最近の子は会っても挨拶もできない」という昭和12年生まれの母の言葉に気付かされました。挨拶は礼儀として当たり前とされますが、例えば、知らない人でも大きな声で挨拶を心掛けるスポーツクラブにいた人とそうでない人は違います。まして、大人同士でさえ挨拶が当たり前ではない中で生きてきたならばなおさらです。母に「あなたののような近所の口うるさい大人に、そりやしないよ」と口答えて放った言葉は、すぐさま“自分だから挨拶したくない生徒がいる”と自らを斬りました。

教師として先輩から教えてもらった「挨拶は、敵意なく、友好な人間関係を望むことを伝え合う言葉（行為）。相手は嬉しく、心温まる言葉（行為）」と生徒に伝え、その気持ちを挨拶に託すようになりました。

この気付きは教師同士の関係にもいえることだと顧みました。私だから上手くいかないこと、話してもらえない生徒がいる一方で、それができる人、その生徒と話せる先生の存在など「みんな」で協働していくことが大切だと思いました。

もう20年も前になるでしょうか、学年主任として個性・特性、事情が多様な子どもたち、学年集団と出会いました。当時まだ、“個性的であれという言葉を矛”に、生徒の“みんなと違うことをして先生に叱られるのを恐れる盾”を貫こうとしていました。そのとき、「みんなが、みんなと、みんなに学ぶ」という言葉を目標として掲げました。互いの“違い”を争いの理由とせず、新たな価値を創造していくところに未来を見据えた言葉です。

改めて、この言葉を掲げ、個性あふれる三中において、「みんなが、みんなと、みんなに学ぶ」学校を目指してきます。

年の瀬に、みんなが幸せでありますように、そう願います。

参観日・全体会・学年、学級懇談会

11月28日（金）、参観日（全体会）が行われ、約160人の保護者の方に参加していただきました。1学期末の参観日は学級担任の授業でしたが、今回は、1・3年生は副担任の授業、2年生は10月に実施された職場体験学習の報告会を行いました。

授業参観後は全体会が行われ、校長から、「総合的な学習の時間」についてお伝えする場を設けました。「本校では、ふるさとの『人・もの・こと』との関わりを題材にした探求学習に取り組んでいます。今年度は職場体験学習、社会見学、遠足、保育体験学習、職業や地元の高校についての調べ学習、修学旅行での“東京で活躍する三中出身の先輩の講話”などを通じて、働く意義や将来の生き方などについて考え、それを『家族宛の手紙』としてまとめることにしています。手紙を読んでいただき、将来について、そして“今（これから）”についてお話をするときっかけ・機会にしていただければ幸いです。」と話がありました。

その後、学年や学級で懇談会・茶話会が行われました。保護者の方からは、貴重なご意見をいただきました。今後の教育活動に生かしていきます。



1年思春期教室 ~大切な命~

11月4日（火）、健生病院助産師：三上久美子先生を講師にお招きし、1年生を対象に「思春期教室」を行いました。「大切な命」と題して「思春期の体の発達」「生命の誕生」のすばらしさについて理解し、家族への感謝や思いやりの心を育み、自尊感情を高めることなどを目的として行いました。

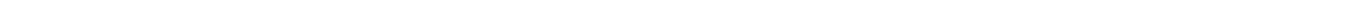
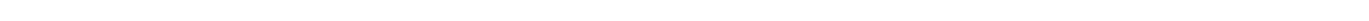
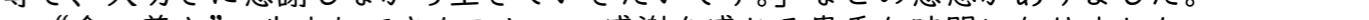
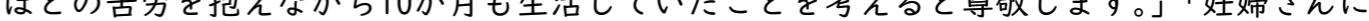
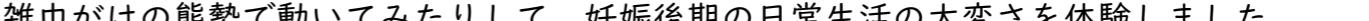
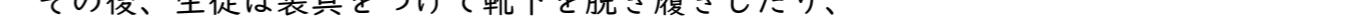
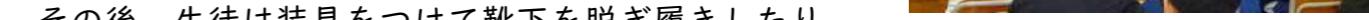
生徒に渡した用紙の小さな穴を使って、受精卵の大きさを確かめさせ、胎児の成長・特徴と出産の様子について模型や資料を使いながら説明していただきました。

その後、生徒は装具をつけて靴下を脱ぎ履きしたり、雑巾がけの態勢で動いてみたりして、妊娠後期の日常生活の大変さを体験しました。

最後には、「どうしてお母さんは自分を産んでくれたか、それは“宝もの”だからです。自分を大切に、家族や友達の命を大切にしてほしい。立派な大人に成長してください。」とお話をいただきました。

生徒からは、「お母さんは、命がけで僕たちを産んでくれて感謝です。」「自分の親はこれほどの苦労を抱えながら10か月も生活していたことを考えると尊敬します。」「妊婦さんは電車やバスの席をゆずり、自分が協力できることはしていきたいです。」「人間関係で悩むことがあるかもしれないけれど、相手のことを思いやっていこうと思いました。」「命の尊さ、大切さに感謝しながら生きていきたいです。」などの感想がありました。

“命の尊さ”、生まれてきたことへの感謝を感じる貴重な時間になりました。



弘前市式健康教育コアカリキュラム ～生活習慣病の予防を考えよう～

11月7日（金）、2年生を対象に「弘前市式健康教育コアカリキュラム」について、講師として東部給食センター栄養士：工藤弓子先生をお招きして行いました。

「生活習慣病の予防を考えよう」と題し、「青森県の健康課題や生活習慣病について知る」「これから健康を考えて望ましい食生活をしていくとする態度を育てる」ことなどを目的として行いました。

工藤先生からは、青森県の健康の現状や生活習慣病の原因、望ましい食べ方やダイエットの弊害などについて説明していただきました。

生徒からは、「なぜ糖尿病になるか分からなかったが、ブドウ糖の不足でかかることが分かった。」「ダイエットをすることになったら、食事や睡眠をきちんととり、正しい方法でやりたい。」「毎日、バランスのよい食生活を送ることが大事だと改めて気付かされた。」「骨密度は20代で決まり、その後低下する一方だと初めて知った。」「生活習慣病になるわけがないと思っていたが、運動不足や食生活など日常の様々な所から病気につながっていくことが分かった。」などの感想があり、グループでの話合いを通して、自分だけでなく友達の考えも知り、普段からどのようなことができるかを考える貴重な機会となりました。

薬物乱用防止教室 ～薬物が身体に与える影響～

12月3日（水）、1年生を対象に「薬物乱用防止教室」を、鳴海病院：院長 鳴海 晃先生を講師としてお招きして行いました。

薬物が身体に与える悪影響について正しい知識を身につけ、薬物に絶対に手を染めないことなどについて学ぶ機会として行いました。

鳴海先生からは、市販薬のオーバードーズやエナジードリンクの過剰摂取、タバコやアルコールの危険性について説明していただきました。

最後に、「一つの選択が人生を大きく変える。将来の目標や夢を実現するために、正しい知識をもち、自分で考え、自分で判断し、解決する能力をもってほしい。自分がされて嫌なことを他人にしてはいけない。食事、運動、睡眠を大事に健康でいてほしい。」とお話をいただきました。

生徒からは、「テレビで覚醒剤と聞いたことがあったが、どんな作用があるか初めて知った。自分の年齢だとオーバードーズが多いことを知り、気をつけようと思った。」「普通に飲んでいたものまでカフェインが入っていると知って驚いた。」「一度でも薬物を使ってしまうと“乱用”になって、中毒になってしまうことが分かった。」「年末、年始になるとたくさんの人と会うが、勧められることがあってもきっぱりと断ります。」などの感想があり、正しい知識と薬物乱用の危険性について学ぶ機会となり、大きな成果を収めることができました。



第77期後期生徒総会 WE HAVE DREAMS ~自分をみせる勇気~

12月1日（月）、インフルエンザで延期されていた「第77期後期生徒総会」が行われました。

開会にあたり、前生徒会長からは「代替わりの節目となります。テーマ『My Color』のもと、一人一人が磨いた個性を生かし、新たなテーマに向かって進んでいきましょう。」とあいさつがありました。

第76期の活動報告と第77期の活動計画、生徒会規約について提案され、それぞれ承認されました。最後に、新生徒会副会長から、第7

7期テーマ「WE HAVE DREAMS ~自分をみせる勇気~」が発表され、「皆さんと共によりよい学校をつくりあげていきましょう。」と全校生徒に呼びかけ、閉会しました。

生徒総会では、これまでの執行部や委員会活動への感謝の言葉やこれから活動について前向きな提案も多く述べられ、生徒が主体となって取り組む生徒会活動を見ることができました。

次の日の全校朝会では、校長から「夢は“達成したい未来の現実”です。そのためには準備や努力が必要ですが、無理ではなく大変なだけです。夢が叶うの反対語は“あきらめる”です。“続けること、あきらめないこと”が夢を叶えることです。生徒会としても夢をもって、達成したい三中祭を未来の現実としてイメージし、それに向けて日々一步歩んでください。」と話がありました。



1月の予定



*1日（木）～3日（土）年始休業日

8日（木） 3年：出校日④＜授業日＞
1、2年：出校日

12日（月） テスト前部活動休止～14日
15日（木） 3学期始業式、3年実力テスト

1、2年1月テスト
あいさつ運動一斉取組日

16日（金） 1、2年：短縮①～⑥
3年：短縮①～⑤、三者面談①

19日（月） 1、2年：短縮①～⑥
3年：短縮①～⑤、三者面談②

20日（火） 1、2年：短縮①～⑥
3年：短縮①～⑤、三者面談③
21日（水） 平常①～⑤
22日（木） 短縮①～⑥
23日（金） 平常①～⑤
26日（月） 短縮①～⑥、生徒会委員会
27日（火） 平常①～⑤、⑥避難訓練
28日（水） 平常①～⑤
29日（木） 3年：実力テスト
30日（金） 平常①～⑥
短縮①～⑥

*変更になる場合もあります。

「アンケート調査」のお願い

*1月8日（木）出校日に、生徒を通じて下の二つのアンケートを配布します。

- ・学校教員の体罰及び不適切な指導に関するアンケート調査（生徒・保護者）
- ・みんなの心と体の安全を守るためにアンケート調査（生徒）
～アンケートを記入の上、配布された封筒に入れ（封をし）、1月16日（金）までに学級担任へ提出をお願いします。

※回答内容は、校長・教頭・養護教諭が封を開け、確認します。